

令和4年度 青森県学習状況調査の結果について

1 調査の概要

- (1) 目的 各教科の学習の定着状況を把握し、課題を明らかにするとともに、学習指導の改善や本県児童・生徒の学力向上に資する
- (2) 実施日 令和4年8月31日(水)
- (3) 対象 小学校第5学年児童 中学校第2学年生徒
- (4) 実施教科 小学校 国語・社会・算数・理科
中学校 国語・社会・数学・理科・英語
- (5) 調査内容 基礎的・基本的な知識・技能を問う問題
知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題

2 調査結果

【小学校】

(通過率…%)

	国語	社会	算数	理科	総合
青森市	76	63	61	58	65
青森県	73	62	59	56	63
本市と県の差	+3	+1	+2	+2	+2

【中学校】

(通過率…%)

	国語	社会	数学	理科	英語	総合
青森市	63	53	44	45	60	53
青森県	62	51	43	42	58	51
本市と県の差	+1	+2	+1	+3	+2	+2

(通過率：総正答数を総問題数で除した割合)

3 本市児童・生徒の学力の状況

- 全ての教科で、通過率は県の平均を上回っている。
- 全国学力・学習状況調査と同様に、以下の問題に課題がある。
 - ・複数のデータから必要な情報を読み取り、それに基づいて判断する力を問う問題
 - ・日常生活と関連付けて考える問題
 - ・記述式問題

4 今後の取組

協働的な学びで特に思考力を育成する、以下のような学習活動を積極的に取り入れられるよう、研修講座や学校訪問等で具体的な指導・助言を行う。

- ・ICT等を活用して収集した、文字、画像、グラフや資料等、様々な情報から必要な情報を読み取った上で、判断したり、表現したりする活動
- ・自分の考えと他者の多様な考えを比較検討したり、関連づけたりしながら意見を練り合い、文章で説明する活動
- ・課題を解決するために、各教科で培った知識・技能を生かして新たな考えや最適な解を導き出す探究的な活動